**第４期**

**令和３年度営業時間短縮要請協力金　第４期**

**（要請期間　１月２８日～２月１３日）**

**波佐見町営業時間短縮要請協力金第４期提出書類チェックシート**

|  |  |
| --- | --- |
| 法人名または  個人事業主名 |  |

　ご提出の前にこのシートにより、ご自身で提出書類がすべて揃っているか☑をしてください。

　チェック後、このシートは申請書類とあわせてご提出ください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 書類 | | 備考 |
| □ | 波佐見町営業時間短縮要請  協力金第４期支給申請書  (様式１) |  |
| □ | 誓約書(様式２) | ●法人の場合  　名称及び代表者の職・氏名(記名・押印)を記載してください。  　なお、押印は法人登記印を押印してください。  ※住所は法人登記所在地を記載してください。  ●個人事業主の場合  　自署してください。  ※住所は住民票の登録のある住所を記載してください（×店舗の住所）。 |
| □ | 本人を確認できる書類  の写し  ※個人事業主の場合のみ | ※住所、氏名、生年月日が確認できる公的証明書類の写し  　（住所は住民票の登録のある住所が確認できるもの）  ※本籍地が記載されている場合は黒塗りしてください。  ※有効期限内のものを提出してください。  ＜本人確認書類の例＞  ・｢運転免許証｣　　・｢健康保険証｣　　・｢在留カード｣  ・｢マイナンバー(個人番号)カード｣　(表面のみを提出してください) |
| □ | 振込先口座の通帳の写し | 振込先口座の金融機関名、支店名、口座種別、口座番号、カナ表記の口座名義が確認できる通帳(**表紙をめくった次のページ**)の写しを提出してください。  ※振込先口座の名義について  　・法人の場合　⇒　法人名義としてください。  　・個人事業主の場合　⇒　代表者個人の名義としてください。  ※申請者と振込先口座の名義人が一致しない場合は、協力金受領の  　「委任状(\*)」を提出してください。  ~~※旧十八銀行、旧親和銀行の通帳は、十八親和銀行の通帳へ切り替えの~~  ~~うえご提出ください。~~  ※ネットバンキングで通帳がない場合は、振込先口座の金融機関名、支店名、  　口座種別、口座番号、カナ表記の口座名義を確認できる各銀行のホームペー  　ジ画面の画像をプリントアウトのうえご提出ください。 |
| □ | 申請する店舗の情報  (様式３－１)  (様式３－２) | ｢開店１年以上の店舗用｣と｢開店１年未満の店舗用｣の様式のうち、該当のものを提出してください。  ※対象店舗が複数ある場合は、対象店舗ごとに提出してください。  ※複数店舗申請する場合は、右上の店舗№欄を使用し、店舗毎に番号を  　付してください。なお、その他の書類についても該当店舗と同じ番号を  　右上に記載してください。 |
| □ | 飲食店・喫茶店営業許可証の写し | 営業時間短縮要請期間（令和４年１月２８日～同年２月１３日）を含む、有効期限内のものを提出してください。  ※対象店舗が複数ある場合は、対象店舗全ての営業許可証の写しを提出してく  　ださい。  ※営業許可証の名義が申請者と一致しない場合は、｢理由書(\*)｣を提出して  　ください。  ※対象店舗が複数ある場合は、どの店舗の書類か判別できるように  　申請する店舗の情報（様式３－１）または（様式３－２）に記載した  　店舗番号と同じ番号を右上に記載してください。 |

(\*)｢委任状｣「理由書」は参考様式をご参照ください。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（裏面あり）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| □ | 店舗名(屋号等)がわかる  外観の写真 | ※対象店舗が複数ある場合は、どの店舗の写真か判別できるように  　申請する店舗の情報（様式３－１）または（様式３－２）に記載した  　店舗番号と同じ番号を右上に記載してください。 |
| □ | 店内(飲食スペース)の  写真 | ※対象店舗が複数ある場合は、どの店舗の写真か判別できるように  　申請する店舗の情報（様式３－１）または（様式３－２）に記載した  　店舗番号と同じ番号を右上に記載してください。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| □ | 休業・営業時間短縮の状況がわかる写真等 | 次の①、②のいずれかを提出してください。  ① 休業または営業時間短縮のお知らせの貼紙を店舗に提示している写真  ※店舗の入口に休業または営業時間を短縮していることを来店客に周知  　する貼紙等を提示し、写真（※貼紙等そのものだけでなく、店舗入口  　と貼紙等が画像に入っているもの）を撮ってください。  ② 休業または営業時間短縮のお知らせを、店舗のホームページや  　SNSなどで、広く一般の利用客向けに発信している画面の画像を  　プリントアウトしたもの。  ※写真などは、記載の文字が読める大きさで撮影をしてください。  ※任意様式の場合は、営業時間を短縮した期間（終日休業を含む）を明記して  　ください。  ※対象店舗が複数ある場合は、どの店舗の写真か判別できるように  　申請する店舗の情報（様式３－１）または（様式３－２）に記載した  　店舗番号と同じ番号を右上に記載してください。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | | |
| １日あたりの売上高が７５，０００円を超える場合は、以下の書類も添付  ※波佐見町営業時間短縮要請協力金第４期申請要領　表１の備考欄｢Ｂ～Ｄ｣に該当する店舗 | | |
| □ | 前年度、前々年度または  前々々年度の確定申告書の  控えの写し | **※前年度　　　＝　令和　２年１～２月を含む確定申告書**  **※前々年度　　＝　令和　元年１～２月を含む確定申告書**  **※前々々年度　＝　平成３０年１～２月を含む確定申告書**  ●法人の場合  　｢法人税確定申告書別表一の控え｣(税務署の収受印または税理士の証明印が有るもの)の写しを提出してください。  ●個人事業者の場合  　｢所得税及び復興特別所得税の確定申告書のＢ第一表の控え｣(税務署の収受印または税理士の証明印が有るもの)の写しを提出してください。  ※マイナンバー(個人番号)が記載されている箇所は黒塗りしてください。  ※電子申告(e-Tax)の場合は、確定申告書の控えの上部に受付日時、  　受付番号の記載のあるものを提出してください。  ※「飲食業売上高がわかる書類」の該当する月が含まれている確定申告書  　を提出してください。  ●確定申告書の控えの写しが提出できない場合  　｢住民税の申告書の控え｣の写しを提出してください。  ●新規開業のため初回の確定申告の時期を迎えていない場合  　次のいずれかの書類を提出してください。  　・｢法人設立届出書｣の写し　　・｢開業届｣の写し |
| 開店１年以上の店舗の場合 | | ※｢売上帳等の帳簿」の写しなど。  　ただし、要請の対象外となっているテイクアウトなどの事業の売上げ  　や消費税は売上高から除きます。  ※対象店舗が複数ある場合は、どの店舗の売上か判別できるように  　申請する店舗の情報（様式３－１）（様式３－２）に記載した  　店舗番号と同じ番号を記載してください。 |
| □ | 店舗の前年、前々年または前々々年の１～２月の飲食業売上高がわかる書類 |
| 開店１年未満の店舗の場合 | |
| □ | 開店日から令和４年１月２７日までの飲食業売上高がわかる書類 |
| 売上高減少額方式により申請する場合は、以下の書類も添付  ※波佐見町営業時間短縮要請協力金第４期申請要領　表１の備考欄｢Ｄ｣に該当する店舗 | | |
| □ | 店舗の本年の１～２月の飲食業売上高がわかる書類 | ※｢売上帳等の帳簿」の写しなど。  　　ただし、要請の対象外となっているテイクアウトなどの事業の売上げ  　や消費税は売上高から除きます。  ※対象店舗が複数ある場合は、どの店舗の売上か判別できるように  　申請する店舗の情報（様式３－１）（様式３－２）に記載した店舗番号と  　同じ番号を記載してください。 |